



前号に引き続き、教職大学院1年生前期の授業を3つ紹介します。

④ 現代的な学力観と授業実践の基礎と課題

(野田先生・後藤先生)

「子どもが身に付けるべき学力」の背景にある学力観や学習理論の変遷を理解することが目標です。

授業を支える教授・学習理論についてのストレートマスター(以下、ストマス)の発表や現職教員(以下、現職)の実践授業の発表から得たものを基に、グループで「総合的な学習の時間」の授業づくりを行います。



⑤ 子どもの学ぶ意欲と授業実践の基礎と課題

(井邑先生・木田先生)

子どもの学ぶ意欲に関する基本的理論を理解し、子どもの状況に応じた教育支援の在り方を明らかにすることが目標です。グループで、自身の実践的課題や教育課題に対する発表やディスカッションを行います。

⑥ 教育課程編成の基礎と課題

(後藤先生・野田先生)

教育課程編成に関する基本的理論について理解し、現場における実践的課題を探究することが目標です。学習した理論を基にグループで仮想学校を設立し、カリキュラムの開発・発表を行います。(写真はTeamsでのやりとりです。互いの発表について感想を伝え合っています。)



◆授業以外での様子です。授業後に話をしながら学びを深めたり、発表の準備をグループで打ち合わせたりしています。また、自由に参加できる大学院内サークルで実践を紹介したり、知りたいことについて交流したりしています。



院生共同研究室ではこんなやりとりも…

「今日の授業内容…
こういうことだね！」
「●●の課題、今日までよね」



「発表では、こういう風に
説明しましょうか…」
「ここは教授に確認しよう！」



サークルでのひとコマです！
今回のテーマは「学級目標」
現職教員とストレートマスターが
同じ目線で学び合います♪